

# 令和6年度 学校経営計画

## 1 学校教育目標

校訓「自ら 学び 思い 律する」のもと、  
「志高く創造性豊かな実践力のある人間を育成する」を教育目標とする。  
そのため、

- (1) 新たな価値観や考え方を構築する創造力の育成 (Creativity)
- (2) 疑問をもち、それを追究する探究心の育成 (Inquiry)
- (3) 他者と協働できる生徒の育成 (Collaboration)

を通し、様々な背景を持った、自分とは考え方や価値観が異なる人とより良い関係を築くことができる生徒を育てる (Open-minded) ことを教育方針とする。

## 2 学校の特徴

本校は、国際コースをもつ普通科単独校として、確かな学びを通し、明日を切り拓く力を身につけることを目標に、次の点に重点を置き、学習指導、進路指導、生徒指導を行っている。

- ・どのように生きるかを共に考えるための教育の推進
- ・社会の仕組みを学ぶだけでなく、実際の社会参加のためのスキルや考え方も一緒に学ぶ「シチズンシップ教育」の推進
- ・国際的視野にたつ国際教育の推進
- ・各教科における深い学びの実現
- ・各教科の学びをつなげ、生かす「総合的な探究の時間」の充実

## 3 学校の現状と課題

本校生徒は温和で真面目な生徒が多く、ほとんどの者が国公立大学や難関私立大学への進学を目指している。授業や学校行事、部活動等には概ね真面目に取り組んでいるが、教師主導の要素が強く、自ら計画を立てて行動しようとする主体性が不足している。また、自己の将来のヴィジョンを描いていない生徒が多い。

そこで、「授業や学校行事、各事業において主体的に取り組む姿勢を育成する指導方法を確立し、自発的に取り組む生徒を育成すること、それにより、学ぶ意欲を高めたり、自己の生き方や将来を考えたりする生徒を育てる体制を整備すること」を学校課題とする。

#### 4 学校教育計画

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
1	学習活動	目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の志望・能力・適性に応じて、各教科の特性とバランスを考慮し、段階を踏んだ系統的な指導ができるように教育課程を編成する。</li> <li>○ 学習の到達度や興味・関心等に配慮し「主体的・対話的で深まる授業」を行うとともに、主体的に学ぶ望ましい学習習慣を確立させる。</li> </ul>
	重点1① 重点1②	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の全人的な発達がなされるよう教科のバランスや特別活動等、他の領域との調和を図り、進路志望実現を考慮した教育課程とする</li> <li>○ 1学年では基礎・基本を重視し、2・3学年では生徒の進路志望に対応した類型、コースと科目の選択を可能にする。</li> <li>○ 「総合的な探究の時間」を活用して、1・2学年で「探究活動」および「進路探訪」を行い、課題を発見し解決していく能力および進路に対する目的意識を高め、校訓に謳う「自ら学び 思い 律する」態度・能力を育てる。3学年では進路に応じた教科学習の深化を図る。</li> <li>○ 全教員による学習指導研修や教科別研修等により、<b>教科指導の充実</b>に努め、<b>学力の向上</b>を図る。</li> <li>○ 生徒による授業評価アンケートを実施し、よりよい授業実践の参考とする。</li> <li>○ 授業第一主義のもと、授業時数の確保に努める。</li> <li>○ 学年・教科担当者が連携し、生徒の学力の把握に努める。</li> <li>○ 毎日の予習・復習、課題などに計画的に取り組ませることに より、継続的な家庭学習の習慣を身につけさせる。</li> <li>○ 学校行事等の年間計画の作成や各種のしおり等を活用して生徒各自の学習予定表・日課表を作成させ、自主的な学習習慣を養成する。</li> </ul>
2	学校生活	目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の確立及び社会の規律を守る態度を育成する。</li> <li>○ 健康や安全の意識を高め、心身の健康を自己管理できる生徒を育てる。</li> <li>○ 校舎内外の環境美化に努め、生徒が気持ちよく学校生活を送ることができるようにする。</li> </ul>
	重点2① 重点2②	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登校指導や学年における遅刻指導等を通して、富山南高校の生徒としてふさわしい服装・あいさつなどの指導を継続して行う。</li> <li>○ 生徒用個人ロッカーを利用するなど、貴重品の自己管理を徹底させる。</li> <li>○ サイクル安全リーダーによる交通安全街頭指導やHR等を通して、<b>交通安全に関する意識の高揚</b>を図る。</li> <li>○ 生徒保健委員会の活動を活性化させ、生徒の健康増進に向けた情報発信や校舎内外の<b>環境美化への積極的な取り組みを推進</b>する。</li> <li>○ 南苑祭での展示発表、学校保健委員会での発表に向けた準備・運営を委員生徒が主体的に取り組めるよう支援する。</li> <li>○ 定期健康診断、各種検診の結果をもとに健康について指導する。</li> <li>○ 全職員が生徒理解に努め、教育相談の充実を図る。</li> </ul>

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
3	進路支援  <b>重点3①②</b>	目 標	○ 生徒が自己の可能性を発見し、多様な選択肢の中から自分なりの生き方を探し求め、力強く歩むことができるように助言・指導する。
		計 画	○ スタディサポート・学習支援調査（進路希望調査・意識調査）を実施し、生徒個々の実態を踏まえ個人面接に生かす。希望する進学先を明確にさせることにより、適切なコース・科目を選択させる。 <b>家庭での学習習慣を定着</b> させ、 <b>目標達成のための学力</b> をつけさせる。 ○ 入学直後の新入生オリエンテーションにおいて、学習の仕方を指導し、高校生活の基礎を作らせる。また、キャリア教育の一環として、1学年で社会人（OBやPTA）による講話、2学年では大学・企業を訪問する「進路探訪」を実施し、 <b>進路意識の早期の確立</b> に努める。 ○ 小論文指導、面接指導、大学入学共通テスト対策、個別試験対策など、きめ細かい指導を継続的に行うことで、 <b>高い志を持ち進路目標の達成に主体的に取り組む生徒の育成</b> を目指す。 ○ 生徒向けの「進路のしおり」「学習のしおり」等を発行し、進学や職業に関する情報を整理させ、自己の進路実現に活用させる。 ○ 実力テスト・模擬試験等の成績資料が随時活用できる体制を整え、生徒の目標を段階的に設定するとともに、事後指導も確実に行う。 ○ 大学入試制度に関する正確な情報を収集し、検討・協議する。
4	特別活動  <b>重点4①②</b>  <b>重点4③</b>	目 標	○ 学校行事、部活動、ボランティア活動等に自ら積極的に参加させ、人と交流することの大切さや、社会に貢献できる資質を養う。 ○ 読書活動を通して、豊かな教養を身につける。図書館を活用した自主的な学習を励行する。
		計 画	○ 集団生活の中で好ましい人間関係を構築するため、様々な問題に対して一人ひとりが自分なりの意見や意思を持ち、積極的な意見交換を通じて合意形成が図られるよう、討論を主としたHR活動の充実を図る。 ○ 体育大会、南苑祭において、多くの生徒が達成感・充実感を得ることができるよう、 <b>生徒に主体的な企画・立案・運営</b> をさせる。 ○ 図書館活動を活発にし、教科や学年との連携を密にして、生徒の読書に対する意欲を高め、 <b>読書習慣の定着</b> を図る。 ○ 蔵書や資料を充実させ、図書や行事等に関する情報を発信して、 <b>図書館及び図書資料の活用</b> を促進する。
5	その他 (国際教育)  <b>重点5①</b>  <b>重点5②</b>	目 標	○ 海外研修、海外の協力校の生徒との交流や国際関係行事を通して、海外の生活文化等を知ることによって、自分たちの生活文化への理解を深めさせる。
		計 画	○ ALT等を活用して、普段から英語による授業を行い、 <b>英語コミュニケーション能力の育成と向上</b> に努めるとともに、英検やGTECなどの外部試験を積極的に活用する。 ○ 海外研修、イングリッシュ・キャンプ、国際セミナー、国際理解のための講演会等を実施し、 <b>国際教育の充実</b> に努め、生徒に英語や外国に興味・関心を持たせる。

## 5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

令和6年度 富山南高等学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動
重点課題	新教育課程を意識した教科指導力の向上
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の改善について、各教科部会を中心に研修している。「ICTの効果的な利用」や「アクティブ・ラーニング」を取り入れて生徒がより能動的・意欲的に取り組もうとする姿勢を育てる授業の質を高めることが課題である。</li> </ul>
達成目標	①タブレットを効果的に使用した授業の実現に積極的に取り組み、ICT教育の推進に努める。 ②「アクティブ・ラーニング」を取り入れ生徒が主体的・対話的に活動する機会を授業中に設け、生徒の学習の能動的な質を高める。 授業の満足度についてのアンケートで肯定的な回答（5段階中4または5）の割合70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科部会、職員研修などでICTの利用についての研修をすすめ、実際のタブレットの活用方法について教員間で意見を交換しながらより効果的な活用方法について検討する。</li> <li>教員にICT活用アンケートを実施し、使用状況を把握する。アンケート結果から先生方の授業実践方法を提示共有する。</li> <li>アクティブラーニングに関するアンケートを生徒に学期末に実施し、回答から授業の分析や改善を行い、授業の質の向上に努める。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)

令和6年度 富山南高等学校アクションプラン - 2 -	
重点項目	学校生活
重点課題	基本的な生活習慣の確立と規範意識、身の回りの環境美化意識の向上
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>明るくまじめな生徒が多いものの、遅刻を繰り返したり、定められた服装やマナーが定着していない生徒も見受けられる。</li> <li>昨年度は交通事故が10件発生した。すべて自転車乗車中の事故で重大事態に繋がる危険性を秘めている。また、自転車の乗車マナーに関する苦情も寄せられている。</li> <li>学校生活は、ほぼコロナ以前に戻ったが、生徒保健委員会の活動が未だ低調なままの状態にある。保健活動や環境美化活動に主体的・継続的に取り組んでいくことで、全校生徒の環境美化意識向上に繋げていきたい。</li> </ul>
達成目標	①交通ルールを守り、交通事故を起こさない、遭わない ②生徒保健委員会としての年間活動回数20回以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻・服装・あいさつ・マナー等に関する指導は、教育活動全体の中で全教員が一丸となって行う。特に、登校指導や、生活委員・生徒会が協力して挨拶運動を行う中で、生徒一人ひとりが主体的に自覚と責任をもった行動ができるように指導する。</li> <li>①交通事故               <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、交通安全教室やさわやか運動、登校指導、サイクル安全リーダーによる交通安全街頭指導、HR、生徒会を通して交通安全に関する意識の高揚を図る。</li> <li>生徒の安全を考慮し、ヘルメットの着用を呼びかける。</li> </ul> </li> <li>②生徒保健委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の健康増進に資する活動：10回（ほけん便りの発行、調査研究、発表等）</li> <li>校舎内外の環境美化にかかる活動：10回（外掃除、用具点検、花壇整備等）</li> <li>委員会の意義や役割を理解させ、自ら進んで活動に参加できるよう支援する。</li> <li>生徒保健委員会としての活動目標や活動内容を明確にし、年間活動計画を作成する。</li> <li>委員の分担や当番表を作成して活動状況を把握し、適宜指示やアドバイスを与える。</li> <li>前後期ごとに活動の振り返りや反省の機会を設け、以後の委員会活動に生かす。</li> </ul> </li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)

令和6年度 富山南高等学校アクションプラン - 3 -	
重点項目	進路支援
重点課題	高い志を持ち進路目標の達成に取り組む生徒の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学に進学したいと考えている生徒の割合は1・2年次で9割以上、3年次で8割以上になるが、具体的な進路目標を持った生徒の割合が低い。</li> <li>・学部学科を2年次1学期までに決定できる生徒の割合が少ない。</li> <li>・高い進路目標を抱くことができても、断念する生徒が多い。</li> </ul>
達成目標	①年間を通じて生徒の進路目標の意識付けに繋がる面接回数を確保する。
	②高校生のための学びの基礎診断による学習到達度（GTZ）B1以上を達成した生徒の割合 1・2年生は5回以上、3年生は6回以上 1月模試において総合B1以上の生徒の割合が1年生は6割以上、2年生は5割以上、3年生は11月模試において総合B1以上の生徒の割合が5割以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導計画に基づく各学年の方針に従い、生徒との個人面接を通して、生徒理解を深めるとともに信頼関係を構築し、具体的な進路目標を個々に設定させる。</li> <li>・学力検討会及び学年会を通して、教科と学年が連携して生徒の学習意欲を喚起し、学力の定着が図れるように努める。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)

令和6年度 富山南高等学校アクションプラン - 4 -	
重点項目	特別活動
重点課題	生徒による学校行事の主体的な企画・立案・運営、読書指導の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校行事の規模をほぼコロナ前並みに戻すだけでなく、生徒の意見を取り入れて新しい形を創造することを目指し、生徒会執行部を中心に議論を行っている。</li> <li>②あらゆる特別活動において、すべての生徒が主体的・積極的に取り組んでいるとは言いがたく、事前指導や計画を見直す必要がある。</li> <li>③読書量の多い生徒もいる反面、読書習慣のない生徒がいる。 昨年度1人あたりの貸出冊数は2.7冊（R5年度 1.8冊、R4年度 2.7冊） 図書館への来館人数は1日平均39人 ・本を主体的に読み、考え、表現する力が、十分についているとはいえない。 ・小論文や調べ学習の機会が増え、生徒自身が情報を選択しまとめることが必要になっている。しかし、生徒の図書検索力は十分とは言えない。</li> </ul>
達成目標	①体育大会、南苑祭「満足度」80%以上 ②企画、準備段階での取り組み姿勢や当日の運営及び参加姿勢「積極的な参画」70%以上
	③1人あたりの貸出冊数 1年間に3冊以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「体育大会」・「南苑祭」のいずれも、「生徒会執行部が立案→生徒議会（→各クラス）で審議・決定」の流れで準備を進めていく。生徒自身が企画・立案・審議に参加する機会を設けることで、生徒の行事に対する意識向上を図る。</li> <li>②より多くの生徒が様々な場面で積極的に参画できるよう、作業分担を工夫する。 ※①②とも【実施後にアンケート調査】</li> <li>③読書習慣の定着と図書館及び図書資料の活用促進を図る。 ・生徒図書委員による企画を支援し、読書の楽しさを体験できる場を設定する。 ・ICTを活用した電子図書館や蔵書検索など利用の定着を促進する。 ・「としょだより」（生徒図書委員発行）と「Library」（図書部発行）を配布し、新刊図書案内や生徒の読後感等を掲載することによって、生徒の読書欲を喚起する。 ・県立図書館と連携し、テーマや内容に沿った関連図書の紹介コーナーを設ける。 ・継続して作成しているパスファインダーについて、レファレンスを反映させ更新し、生徒の図書検索力を強化する。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)

令和6年度 富山南高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	その他 (国際教育)	
重点課題	英語コミュニケーション能力の育成と国際コースの活動の充実	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を軸とし、さらに様々な活動 (プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション等) を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指している。</li> <li>・「国際コミュニケーション」を学校設定科目として設定し、自然な英語の聞きとり、英語でのプレゼンテーション、意見交換ができる英語力の育成に努めている。</li> <li>・特色ある国際コースを主とした活動である「国際理解のための講演会」、「食文化交流会」、及び「国際セミナー」がより有意義なものになるよう、事前・事後指導の充実に努めている。</li> <li>・アメリカのサンディギート高校や北アイルランドの交流校とオンラインを含めた交流を継続している。</li> <li>・GTECは1、2年生が12月のアセスメント版の受検を予定している。</li> <li>・令和5年度国際コース卒業生で英語検定2級以上を取得した生徒の割合は、66%であり、目標を達成した。現在、3年生の英語検定2級以上を取得している生徒の割合は75%である。</li> </ul>	
達成目標	①コミュニケーション能力をレベルアップした生徒の割合 (GTEC 4技能、英検)	②「国際セミナー」、「国際理解のための講演会」への参加生徒の満足度 (希望者も含む) の割合 アンケート調査による「たいへん満足」「ほぼ満足」の割合が合わせて90%以上
	GTEC 690点以上 70% (1年) 755点以上 70% (2年)	
	英検 (国際コース) 3年終了時の英語検定2級以上取得者割合 80%以上	
方 策	<p>①について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際コースに限らず、全クラスで英語4技能5領域の力の向上を目指す授業を行う。</li> <li>・英語に関する行事 (イングリッシュ・キャンプ、サンディギート校とのオンライン集中交流) を工夫して行い、生徒の英語に関する興味・関心をより高める。</li> <li>・英語の4技能5領域の力を計るパフォーマンス評価を継続して行う。</li> <li>・英語検定の受検を推奨する。</li> </ul> <p>②について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際教育」、「英語活動」、「コミュニケーション能力の向上」等に関する講師を県内外問わず招聘する。</li> <li>・「国際セミナー」及び「国際理解のための講演会」が、より有意義なものになるよう事前指導を十分に行う。また事後に振り返り (感想) をさせることで、今後の学校生活や進路選択に役立たせる。</li> <li>・満足度に関するアンケートを実施し、より充実した行事になるよう工夫する。</li> </ul>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)